



女子高生 JK目線で

おしゃれなカフェやインスタ映えするスポット、Wi-Fi環境、無料充電器があったらうれしい!

岩本麻緒さん(市街地)

新年度予算は 駅南口拠点施設 2589万2000円
拠点広場の整備
駅周辺街路整備 3億1888万2000円

町の顔リニューアルまであと2年

魅力ある駅前を、誰かが作ってくれるわけではない。あなたが使う(利用する)ことで駅前は魅力的になる。



広報よりい(令和2年11月号)P2-3「寄居駅南口が変わります」

駅周辺街路整備事業が着々と進む中、新型コロナウイルスの影響で南口駅前拠点施設の国庫補助事業が大幅見直し。事業主体は町に、運営のみ「まちづくり会社」となる。事業費による国の補助率は3分の2から2分の1に変更となる。

進む、中心市街地活性化事業

駅前拠点施設は町の顔。町村としては初めての試み。都市再生推進法人に認定されている「まちづくり会社」の運営に期待。柔軟な発想でいかに魅力を出せるか。

新年度予算は ようど保育園施設型給付費等 7779万6000円
病後児保育事業 745万8000円

「ようど保育園」開園 用土保育所は、令和3年3月31日をもって廃止。今までの用土保育所利用者は全員転所園となる。4月1日、社会福祉法人後仁会による「ようど保育園」が開園。同時に、町内に住む子どもたちに対し、町として初めて取り組む病後児保育事業(※)がスタート。

民間化となり、新しい環境下での保育。子どもたちに対し支障がないよう配慮を。病後児保育事業は保護者の「子育て」「就労」の両面支援に期待。

「ようど保育園」開園 用土保育所が民間化

令和3年度予算/ 議会はこう見る

事業

注目の2事業

期待に応えられるか

ギカイの視点 個人所得の減少や収益悪化などから厳しい税収減の中、町の未来を見据えた「まちづくり」「子育て」の予算に注目! コロナ禍でも、子育て世代、働く女性、若者世代が「寄居に住んでよかった」と思える事業の展開に期待。



人通りの消えた商店街

二度の緊急事態宣言、不要・不急の外出の自粛。補助金申請者のうち、売上が3割以上減少した事業者が90%。地域経済へのダメージは計り知れない。(平日午後2時半撮影)

令和3年度予算/ 議会はこう見る

歳入

コロナ直撃!

個人所得落ちる

ギカイの視点 コロナ禍による景気の悪化、町税の減収。財源不足を補うための町債(借金)の増額など、財政運営は厳しさを増している。大切なことは、アフターコロナに向けて、地域の経済力をいかに高めるか。稼ぐ力を取り戻せるか。

Keyword

令和3年度の財政はさらに厳しさ増す...

令和3年度一般会計 歳入 111.6億円

自主財源 54.9億円 (49.2%)			依存財源 56.7億円 (50.8%)			
町税(町民税・固定資産税等)	財調より繰入(貯金取り崩し)	その他	その他	地方債(借金)	地方交付税交付金	国庫補助
44.9億円 (-8.1%)	4.0億円	6.9億円	20.4億円	11.2億円	11.5億円	13.6億円

注) 1000万円未満切捨て表記しているため、合計が合わない場合があります。

2021年度、ホンダの県内生産体制が寄居工場に集約される。自主財源、安定財源確保のために、関連企業誘致はもちろん、産業全般でこのチャンスを全力で生かそう!

Point 1

町民税 (-21.6%)
3億9375万円減

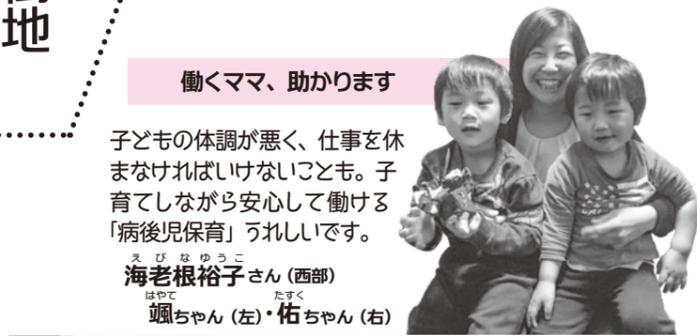
Point 2

地方債(借金) (+18.3%)
1億7310万円増

Point 3

国からの支援(地方交付税) (+8.5%)
9000万円増

地域の大切なのは「稼ぐ力」の復活



働くママ、助かります

子どもの体調が悪く、仕事を休まなければいけないことも。子育てしながら安心して働ける「病後児保育」うれしいです。

海老根裕子さん(西部)
颯ちゃん(左)・佑ちゃん(右)

寄居町初の病後児保育スタート

対象は町内全域の6か月~6年生の児童。小学生も対象となることからしっかりと周知を。



(*) 病後児保育事業 児童が病気の回復期にあり、集団保育が困難な期間等において、一時的にその児童を専用施設で預かる事業。